

2022年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

【総合生活学科のディプロマポリシー】

総合生活学科は、全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性・多様性・協働性が、次の基準に達している者に短期大学士(総合生活学)の学位を授与する。

【知識・技能】

- ・生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。
- ・選択科目群の総合的で学際的な学びをととして、創造的に思考する技能を有している。

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。
- ・現代社会の課題発見能力と課題解決能力及び実践力を有している。
- ・社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。
- ・持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。

【主体性・多様性・協働性】

- ・実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。
- ・主体的に学修を深める力を有している。
- ・多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。
- ・人々と協働・協調して学修を進める力を有している。

【総合生活学科のカリキュラムポリシー】

総合生活学科は、学生がディプロマ・ポリシーに定める基準に到達できるよう、次のように教育課程を編成する。

【教育課程の編成】

- ・学科基礎科目の必修科目として「総合生活論」「基礎ゼミ」「総合生活演習」、選択科目として「被服学」「食品学」「住居学」「情報社会論」「社会福祉概論」「生活経営」「健康管理概論」「環境保全論」「消費生活論」「家族関係」「保育学」「被服構成基礎実習」「調理基礎実習」「住居デザイン基礎実習」「情報基礎演習」の生活全般に関わる基礎知識・基礎技術の習得を中心とする専門科目を用意している。
- ・学科の選択科目は8科目群で編成し、「基礎デザイン」「服飾デザイン」「フードデザイン」「住居デザイン」「情報・ビジネス」「心理」「ビューティーデザイン」「コミュニケーション」を自らのキャリアプランに応じて科目を選択し総合的に学べるよう体系的なカリキュラムを編成している。・各科目で身に付けた専門的知識・技能を基にして、応用力や実践力が身に付くよう、講義形式、演習形式、実験・実習形式など、科目の特性に応じた多様な方法で授業を行っている。
- ・以下の資格や免許等が取得できる科目編成をしている。フードコーディネーター3級、秘書士、プレゼンテーション実務士、二級建築士・木造建築士(受験資格)

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果													
		1年次 2022		2年次 2023			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)													
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4				
学科 基礎 科目	総合生活論	○				①「総合生活論」の理解を深めることができる ②図書館が利用できるようになり情報の取捨選択ができる ③目標達成のためのキャリアプランを描くことができる ④生活全般に関わる諸問題の基本が解決できるようになる ⑤総合生活学科の各科目の学び方が理解できる	◎													
	基礎ゼミ		○			①多様な演習授業をととして様々な分野への理解を深めることができるようになる ②興味のある専門分野を選択する手がかりを得ることができる	◎											○	○	
	総合生活演習 (担当: 谷山 澤子)			○	○	①文化研究の意味が理解できるようになる。 ②研究したいテーマに関する資料の検索や収集ができるようになる。 ③研究成果をレポートまたは論文として作成することができるようになる。 ④研究成果を口頭で発表することができるようになる。 ⑤研究内容に関するディスカッションをととして、コミュニケーション能力及び創造性を身に付けることができるようになる。	○		◎							◎		○		

2022年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果													
		1年次 2022		2年次 2023			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)													
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4				
学 科 基 礎 科 目	情報社会論	○				① 情報社会の基盤を構成する要素の理解ができる ② デジタル情報の本質が理解できる ③ 情報システムが生活に及ぼす影響について理解できる ④ 情報倫理やマナーについて理解、実践できる ⑤ 明日を生きる情報社会人になることができる		◎		◎						○				
	社会福祉概論				○	① 社会福祉の意義と必要性について理解できるようになる。 ② 社会福祉の思想・理念、基本原理について理解できるようになる。 ③ 社会福祉法制、社会福祉サービス体系について理解できるようになる。 ④ 社会福祉の援助対象と援助の視点について理解できるようになる。 ⑤ 社会福祉と人権・差別問題との関連について理解できるようになる。 ⑥ 社会福祉に関する専門職の概要と役割について理解できるようになる。	◎											○	○	
	生活経営	○				① 生活を巡る諸問題について客観的に理解し、自分の生活と関連づけて考えることができる。 ② 経済循環の中の家計の役割を理解し、適切な家計運営の方法を知り実行できる。 ③ 消費者問題の現状と発生要因を理解し、適切な対応をすることができる。 ④ 女性の生き方の現状と変化を知り、自分のライフプランを考えることができる。	◎		○	○				◎						
	健康管理概論			○		健康管理の意義と方法に関する基礎知識を習得することができる。	◎			◎										
	環境保全論	○				① 地球温暖化問題、ごみ問題等、「環境」をめぐる諸問題について正しい知識を習得し、理解を深めていくとともに、 ② 身近な環境保全についての実践力(エコライフスタイル)を身に付けていくことができるようになるのが目標です。	◎													
	消費生活論				○	① 消費者問題が発生する背景や実態を理解することができる。 ② 自立した消費者になるために必要な知識を習得し、情報の収集と選択ができる。 ③ 消費者として様々な問題についての的確に考え、周囲や次世代のことも考えた行動がとれる。	◎													
	家族関係				○	① 家族概念の成立過程や歴史、文化、社会との関わりの中での家族の変容を知り、家族を広い視野で相対的に捉えることができる。 ② 家族を関係学的視点で見ることにより、家族に生じる問題を客観的に考えることができる。 ③ 既成の家族観ではなく、自分の家族観をもつことができる。	○	○	○	◎			◎							
	保育学(実習を含む)	○				親として子どもを守り育てることの意義と方法に関する基礎知識を習得することができる。	◎				○									
	被服構成基礎実習	○				① スカートやブラウスの構成を理解し、型紙作成ができる。 ② 基本的な洋裁道具を使うことができる。 ③ 速く正確にミシン縫いができる。	◎	○									○			
	調理基礎実習	○				① 基本的な食品の扱いと調理技術を習得することができる。 ② 日本料理、中国料理、西洋料理を取り入れた日常的な食事作りができるようになる。	◎												○	○
住居デザイン基礎実習	○				① 基礎的な図面表現の技術が修得できる。 ② 設計に必要な室内照度環境とバリアフリーデザインの基礎知識が修得できる。	◎	○								○					

2022年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果												
		1年次 2022		2年次 2023			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)												
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4			
選択科目	製パン・製菓実習	○				①製パン・製菓の理論が理解できるようになる。 ②さまざまな手法を習得することができるようになる。	◎								○	○	○	○	
	調理学実習		○			①健康や食の安心安全を前提とした食事作りができるようになる。 ②行事食について学び、食文化など多面に渡って食を理解できる。		○							◎	○	○	○	
	栄養学		○			①栄養と健康に関する正しい知識が習得できるようになる。 ②健康な食生活が実践できるようになる。		◎		○					○	○			
	調理学		○			①調理操作や食品の特性を理解し、理論に基づいた調理ができるようになる。 ②健康を考えたおいしい食事作りが実践できる。	◎								○	○			
	食品加工学			○		①食品加工技術の進歩に伴う食品の特性や機能が理解できるようになる。 ②加工食品の正しい選択や利用方法を習得することができる。 ③健康で安全な食生活が実践できるようになる。		◎		○					○	○			
	食品学演習			○		①食品の正しい知識と扱い方を習得することができる。 ②食品の基本的な品質評価や鑑別方法について理解できるようになる。		◎	○								○	○	
	食品加工学実習				○	①食品の加工方法を身に付けることができる。 ②食品加工の原理を理解し、豊かな食生活を実践できる応用力が身につくようになる。	◎								○	○	○	○	
	食品衛生学				○	①「食の安全」がいかに重要かを認識できるようになる。 ②学んだ知識を日常に活かすことができるようになる。 ③フードコーディネーターや消費者の立場で適切な食品衛生管理方法を理解・習得できる。		○							◎				
	食生活論				○	食生活を楽しむための知識を身に付けることができる。		○							◎	○			
	フードコーディネーターの基礎			○		フードコーディネーターに必要な教養と知識が習得できる。		○							◎	○			
	フードコーディネーター実習				○	①基本的なセッティングの約束ごとと、コーディネートアイテムとカラーコーディネートの基礎知識を理解できる。 ②フードコーディネーターとして「おいしいものをよりおいしく食べるための食空間演出」ができるようになる。 ③食に関する企画を立案し、実践することができるようになる。		○		○					◎	○	○	○	
	住居デザイン	住まいの法規	○				住まいに関する法律が、わたしたちの身近な住環境や社会環境に、いかに関わっているかを理解することができます。		○		○				○	◎	○		
		住まいの施工	○				住まいに関する施工をとらえて、建物をつくるとはどういう事かを「人」「もの」「経済」「環境」といった視点で理解できるようになります。		○							◎	○		
住まいの構法			○			在来構法 木造一戸建住宅の主要な骨組を理解できるようになる。	○	○							◎				

2022年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果														
		1年次 2022		2年次 2023			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)														
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4					
選 択 科 目	インテリアコーディネート概論		○			① インテリアコーディネート基礎を体系的に理解できるようになる。 ② 住まいのインテリアコーディネートに役立つ知識を得ることができる。	◎	◎	○		○		○								
	インテリア設計製図		○			インテリア設計製図の基礎的な技法が修得できる。	○	◎		○				◎							
	建築CAD演習			○		①2D CADソフトの基本的な操作を理解し、作図ができる。 ②2D CADソフトを用いて、平面図、立面図、断面図、屋根伏図などの建築図面の作図ができる。 ③3D CADソフトの基本的な操作を理解し、作図ができる。 ④コンセプトを作成し、2D・3DCADソフトを用いて、コンセプトを具現化し、図面化ができる。 ⑤自分の作品をプレゼンテーションできる。			◎		○				◎						
	インテリアデザイン論				○	インテリアデザインの基礎的事項を体系的に理解できるようになる。	○	◎	○		○			◎							
	住居計画学				○	住宅の可能性について主体的に考えることができるようになる。			◎		○			◎							
	住宅デザイン実習Ⅰ				○	木造住宅と鉄筋コンクリート住宅の設計製図の基礎的な技法が修得できる。	○	◎		○		○		◎							
	住宅デザイン実習Ⅱ				○	木造住宅、鉄筋コンクリート住宅の設計を理解し、平面図、配置図、断面図、立面図をかけるようになる。	○	◎		○		○		◎							
	住まいの構造				○	①建物を支える構造に関する各種の基本的知識を習得し、活用することができる。 ②住まいの構造を考える上で必要となる構造力学の基本的知識を習得し、活用することができる。			○					◎	○						
	住まいの材料				○	自分の身の回りを含めて、今まで何気なく見ていた材料にそこに使われている必然性があることを知り、インテリアの知識を深めるとともに、その場所に応じた適切なインテリア材料の選択方法が理解できるようになる。			○					○	◎	○					
	宅地建物と法	○					宅地建物に関連する法令の基礎事項を理解できるようになる。	○			○				◎						
情 報 ・ ビ ジ ネ ス	情報科学			○		① コンピュータにおけるデータの表現が理解できる。 ② コンピュータの構成と基本動作を説明できる。 ③ プログラミング言語を用いた基本的なプログラムを作成できる。 ④ コンピュータを用いた基本的な統計処理やデータ分析ができる。			◎	○											
	コンピュータと情報発信				○	①ウェブページの作成、保守管理ができる ②ウェブページのデザインができる ③多様なメディアの特徴を理解し、適切なメディアを利用した情報発信ができる	○	◎	○	○	○										
	秘書ビジネス論	○				①新人として働くための心構えと基本的姿勢を身に付けることができる。 ②組織の一員として働く意義を理解できる。 ③文書実務等の基本業務に関する知識を深めることができる。 ④組織コミュニケーションの意味を理解できる。 ⑤ビジネス活動に関する知識を深めることができる。もって、自己の実現可能なキャリアプランに向かって自ら主体的な取り組みを深める力を高める。	○							◎	○						

2022年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果															
		1年次 2022		2年次 2023			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)															
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4						
選 択 科 目	情報・ビジネス	秘書実務Ⅰ		○			①組織で働く時の基本的な姿勢を身に付けることができる。 ②オフィスワークの基本業務を身に付けることができる。 ③職場でのコミュニケーション能力の基本を身に付けることができる。	○								◎						
		秘書実務Ⅱ			○		①直前の「秘書実務Ⅰ」で学んだ内容をすぐに実行できる。 ②職場でのコミュニケーション力を身に付けることができる。 ③基本的な社内・社外文書をパソコンで作成できる。 ④ビジネスの慶弔業務、出張業務を身に付けることができる。 ⑤来客の対応、電話の対応を身に付けることができる。 ⑥社会人としてのマナーを身に付けることができる。	○								◎	○					
		社会調査論				○		社会調査の意義、手法、サンプリング、データの読み込み方を理解のうえ、まとめのプレゼンテーションができるようになる。					○	◎								
		マーケティング論				○		①マーケティングの定義及び役割が理解できるようになる。 ②マーケット・セグメンテーションに関する知識が理解できるようになる。 ③ターゲティング及びポジショニングに関する知識が理解できるようになる。 ④製品戦略並びに価格戦略に関する知識が理解できるようになる。 ⑤流通戦略並びに販売促進戦略に関する知識が理解できるようになる。														
		経営会計実務処理					○	到達目標は日商簿記初級レベルの基礎知識を理解できるようになることです。具体的な目標は以下の通りです。 ①企業の経済活動を理解できるようになること。 ②企業の経済活動を、簿記のルールにしたがって、帳簿記入できるようになること。	○													
	コミュニケーション	医療事務概論				○		①医療秘書技能とセンスで患者対応ができるようになる。 ②医療保険制度のしくみや、保険証の見方がわかるようになる。 ③簡単な治療代の算定と保険請求事務ができるようになる。	○									◎				
		プレゼンテーション概論				○		①プレゼンテーションを学ぶ意義が理解できる。 ②対人コミュニケーションの仕組みや形態に関する知識を深めることができる。 ③プレゼンテーションのための要素を知り、自己分析により自らの弱点を見出すことができる。 ④課題によるプレゼンテーションの構成ができる。 ⑤表現、話し方、非言語表現についての知識を深めることができる。 ⑥発表時のツールやスライドに関する知識を深めることができる。 ⑦与えられた課題について、人前でプレゼンテーションできる。	○													
		プレゼンテーション演習Ⅰ				○		①プレゼンテーションツールの種類と特徴を理解し、目的にあったツールを選択することができる。 ②プレゼンテーションに必要な情報収集と時間管理ができる。 ③ノン・バーバルコミュニケーション技法を理解し、活用しながら話すことができる。 ④身近なテーマで簡単なプレゼンテーションができるようになる。														
		プレゼンテーション演習Ⅱ				○		①グループディスカッションができるようになる。 ②パワーポイントを使っての資料作成、操作ができるようになる。 ③自信をもってプレゼンテーションを行い、共感を得ることができるようになる。 ④学んだことを就職活動や実社会で活用することができる。						○	◎			○				

2022年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果										
		1年次 2022		2年次 2023			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)										
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4	
選 択 科 目	ブライダル・プランナーⅠ	○				日本のブライダルについての基礎知識を理解できるようになる。	◎						○	○	○		
	ブライダル・プランナーⅡ		○			①世界のブライダル事情が理解できるようになる。 ②ブライダルの企画ができるようになる。	◎						○	○	○		
	ブライダルコーディネータ論				○	①ブライダルの歴史や関連する基礎知識を理解できるようになる。 ②日本従来やしきたりや文化を理解すると共に、現在の流行や最新のブライダルについて理解できるようになる。 ③ブライダル業界で求められるコミュニケーションスキルの必要性を理解できるようになる。	◎				○		○	○			
	ブライダルコーディネータ演習				○	①ブライダル知識を体験することでより深く理解できるようになる ②ワークをととして、企画力・想像力・実践力が身につけることができる	◎				○		○	○			
	メイクアップ論	○				①社会人になるための女性として必要な正しいスキンケア・メイクアップができるようになる。 ②化粧品の成分やその効果を理解することで、肌にあう化粧品の選び方や肌トラブルを未然に防ぐことができる。 ③顔型・顔のプロモーション・パーソナルカラーを習得することで個人の魅力を演出することができるようになる。							◎	○			
	メイクアップ演習				○	①メイクアップ論での習得した内容を実践することで、自己流メイクで理解できていなかった顔のプロモーションやパーツバランス、アンダートーンにあったメイクができるようになる。 ②技術を向上させることで、第一印象(好感度)をアップさせ印象管理の重要性を理解・表現できる。 ③メイクセラピー検定試験 2級認定メイクセラピーアドバイザー資格を履修者全員取得する。 ④就活メイク・社会人になった時の個人の演出メイクができるようになる。							◎	○			
	ネイルアート演習Ⅰ	○				①正しいネイルケアの知識と技術を身に付けることができる。 ②社会に通用するネイルデザインやカラーを学ぶことで、知的で清潔感のある女性を目指すことができる。							◎	○			
	ネイルアート演習Ⅱ				○	①正しいネイルカラーリングの知識と技術を身に付けることができる。 ②ネイルアートの技術を身につけることで自己表現につなげることができる。							◎	○			